

日和田イチイ林の調査について

久々野営林署 中井正博

1. はじめに

岐阜県大野郡高根村日和田地内にある一位森八幡神社（標高 1,277 m）の社叢林は、全国的にも極めて珍しいイチイの純林になっている（0.32ha）。同村小日和田地内にある森越八幡神社の社叢林は、イチイと広葉樹の混交林となっており、共に岐阜県の緑地環境保全地域に指定されていて、禁伐になっている。

イチイは、岐阜県や高山市の木として指定されているが、飛騨地方の特産物である一位一刀彫りや一位細工の原料とされている他、庭木や生け垣にも良く利用されている等、古くから当地方の住民の生活に深くかかわってきた。このような中で、一位森八幡神社や森越八幡神社の社叢林が保護されたのは、郷土の神社林という事で神域と考えられたためといわれる。

今後、林業の対象としてイチイを考える場合、一位森八幡神社や森越八幡神社のイチイ林の特性を知る事は重要であると思われるが、林分構造や植生等について総合的な調査を行ったものが無いので、今回、一位森八幡神社の社叢林について調査を行ったので報告する

2. 内 容

- 下層植生
土壌断面、植生断面、照度とイチイの稚樹の発生状況
- 立木（每木、イチイ以外も含む）
胸高直径、樹高、枝下高、樹冠投影図、生長錘による樹令の推定

3. 調査結果概要

土壌は、御岳山の噴火に起因すると考えられる黒色土壌で、河岸段丘になっており、円礫を含む。下層植生としては、130種類以上を数え、家畜飼料に混入していたと思われる帰化植物も認められた。（図-1参照）

立木は、図-2に見るとおり、枝の重なりが激しく、また被圧されている立木も多い。そのため、林内での相対照度は5%以下になっている。

生長錘で測定した立木の樹齢（胸高直径 58cmのものとは 24cmのものは、どちらも500年程度と推定された。

4. 考 察

黒川担当区部内鈍引沢国有林 274 林班には、わずかではあるがイチイの人工林がある。

274 ろ（大正14年植、0.31 ha）は、ヒノキの樹下で多少の被圧を受けていて、胸高直径16～22 cm、樹高6 cm程度となっている。生長錘で採取してみたところが最近20年間では胸高直径で約3 cmの生長であるが、それ以前は年輪幅で6 mm近いところであり、木目の美しさを求めるイチイの彫刻の材料には適さないと思われる。

274 は（昭和48年植、1 ha）では、職員の山として下刈りをくり返すと共に剪定を行っており、樹高は2.5 m位になっている。

鈍引沢国有林の、このイチイの植栽地の今後の施業方針に、今回の調査の結果を結びつける事はできないと思われるが、今後ますます稀少化するイチイについて、林業の対象として検討してゆく必要があると考えるので、以下、一般的事項として若干の考察とする。

- (1) イチイは、一般的に風に弱いといわれ、鈍引沢においても平坦地での生長の方が良い。日和田においても、斜面ではヒノキ等が優占する。地形としては、傾斜地での良好な生長は望み難いと思われるので、今後の植栽にあたっては地形について考慮すべきである。
- (2) 斎藤新一郎氏（北海道立林業試験場）によると、一般に広葉樹の樹下で生育しており、風の影響から守られている事が多いので、広葉樹と混植すると良いとしている。彫刻の材料としては密な年輪が必要なので、ある程度肥大成長の抑制が必要であることから現実的な方法であろう。
- (3) 他の林業樹種に比べて生長が遅いので、下刈の回数を多くする事が必要である。
- (4) 一位森八幡神社の社叢林に見られるように樹冠の広がりが大きく、また芯が多く立つ為に、剪定の必要がある。また、利用可能な部分を増し、良質な材を確保する為に、ある程度の枝打が必要であろう。
- (5) 過密といわれるのがどの程度かはっきりしないが、枝の重なりがあまり激しいと生長に悪影響があると思われるので、本数調整を行い、一定の年輪幅の材が得られるようにする必要がある。今後は、森越八幡神社の社叢林や、鈍引沢国有林のイチイ植栽地の調査も行い、より充実した資料として整備したい。

〈参 考〉 イチイの一般的性質について

- 分 布……日本全国に広く分布し、特に北海道に多い。飛騨地方でも、以前は広く分布していたと思われるが、現在では位山等に見られる他、当署管内天然林に若干見られる。
- 樹 形……樹冠は直立。萌芽枝が多く、枝張りが広い。
- その他……生長が遅く年輪が密である。耐陰性は強い。針葉樹としては、古いタイプのもので、雌雄異株。仮種皮は熟すと赤くなる。

表-1 樹種別直径階別本数

	イチイ	ヒノキ	サワラ	スギ	ヒバ	その他
~ 10	14	28	6	1	3	1
10 ~ 20	47	25	6	4	3	4
20 ~ 30	26	17	3	5	1	1
30 ~ 40	27	12	2	3		1
40 ~ 50	32	5	2	1		
50 ~ 60	21	3				3
60 ~ 70	10					
70 ~ 80	3	1				1
80 ~	2		1			1
計	182	91	20	14	7	12
平均胸高直径	32.2cm	20.1cm	23.0cm	22.9cm	11.1cm	
平均樹高	9.7m	10.8m	10.8m	13.0m	7.9m	

図-1 植生断面図

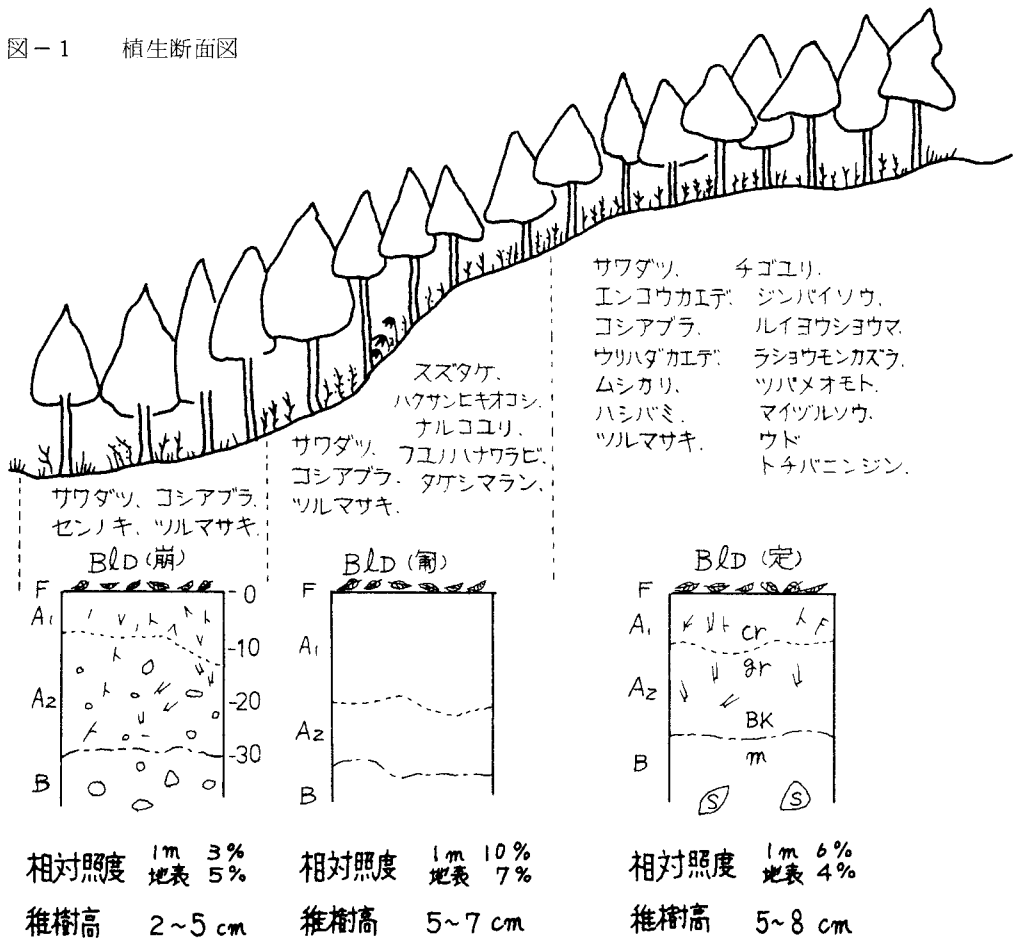


图-2 树冠投影图

$\frac{1}{200}$

